

NPO法人 森づくり奈良クラブ



<会報 第87号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
 〒634-0033 橿原市城殿町459
 TEL 0744-26-0200
 FAX 0744-26-0201
 メールアドレス: gvnc@nifty.com
 ホームページ:
<http://gvnc.eco.coocon.jp>

◇当クラブが国土交通大臣表彰を受賞

NPO法人 森づくり奈良クラブ理事長 奥 恵一郎

5月21日に行なわれた第33回「みどりの愛護」のつどいに行ってきました。奈良県立コンベンションセンターで秋篠宮殿下、紀子様がりモート参加の下、式典が始まり、国土交通大臣、知事、奈良市長の挨拶後、表彰式にて我がクラブが国土交通大臣表彰みどりの功労者を受賞しました。

表彰式後、平城宮跡歴史公園に移動し、イチイカシ、梅、山桜等を植樹しました。私も、山桜の植樹に参加しました。

皆様のみどりを保全する活動が認められた功績と幸いです。

ご支援いただいた奈良県に御礼申し上げますとともに、クラブ員一丸でこれからも地道に頑張ります。



平城京で祈念植樹



6月11日の定例活動でお披露目

この四半期のTOPIX

1. 晴天に恵まれ恒例の「芋煮会兼お花見」が盛大におこなわれる

4月9日土曜日定例活動日、朝から料理名人の皆さんが、料理体験館で芋煮調理とご飯を竈門炊き。午前中の作業を終えた全員集合で桜の森でお花見をおこないました。桜の時期はすぎているのでは、と心配の声もありましたが、桜吹雪の中で料理に舌鼓をうつことができました。

日本の春はサクラ。その下で腹一杯で幸せの一同でした。



2. NEWの「森の恵みを楽しむクラフト体験」を矢田山で実施

5月28日土曜日NEW(奈良市地球温暖化対策地域協議会)のイベントを当クラブ主催(講師派遣という形)で、矢田山に情報労連奈良協議会のご家族を迎えて実施しました。

子ども7名、大人14名を迎えて、ヌマスギや湿地生物等の自然観察。その後交流館でジージーゼミ・竹のポッコリ製作や間伐材・竹の鋸引き体験等を行い、参加ご家族に満足いただけた様子でした。



「天平の森づくり」を担当したころの思い出

鈴木 秀位(前理事長)



～当時の活動状況～

天平の森づくりの開始は、平成22年になります。今から14年前です。

その頃は、平成13年から10年かけて「みんなの森」づくり・・・里山を再生する事業「緑の募金」公募事業を進めており、毎年のように約100名の一般参加者を迎え、植樹祭を行っていました。

その中の「天平の森づくり」を担当した頃の自分は「グリーンボランティア奈良クラブ」(※当クラブの前身)について何も知りませんでした。カルガモの親子の子ガモのように、岡本・日月・辰巳・和巻さんの後からついていく子ガモでした。このクラブがどんな仕組みなのかも、何も知りませんでした。

～「天平の森」づくりを担当したのは石野さん(※当クラブ初代代表)の一声～

ある時石野さんに呼ばれて次年度を担当するように言われました。石野さんには、作業申請について「知識が無すぎる」と何度も怒られました。石野さんは行政申請などのプロです。私は、アマチュアであり、現役時代にもそのような申請経験はありません。それでも何とかやり終えました。

～「天平の森」と名付けた理由～

石野さんが天平時代の発掘に関する資料を持っていて、その記録の中に遺跡から発掘された文化財とともに、樹木の種のものが残されていて、その種の中から今現在入手できるものを調べていきました。そしてその種から植樹を行い森をつくることを目的とした、それが「天平の森」です。

植樹した苗が大きく育ち、聖武天皇や孝謙女帝が眺めた森にと、そっと思いを馳せながら、そこで散策でもできたら嬉しいなど・・・名付けたものです。

～楽しかった作業:巻き落とし～

地拵えは大変でした。背丈を越える笹や灌木にからまれながら、排水路をつくり、幾日も幾日もかけて下刈りを続け、準備を整えて植樹祭を迎えることができました。

この辛い日々のなかでも楽しい作業もありました。「巻き落とし」というもので、刈った笹や灌木を2.5mほどの棒を使い2mの間隔で10人が横一列に並んで作業開始。棒を刈った笹の下の地面に差し込んで、皆で意気を合わせ「せーの」で持ち上げます。それを繰り返していくと、後ろは「これはまあ！」と驚くほどきれいに整理されていきます。意気が合わないとその部分が途切れ、綺麗に整理できません。これがたまたま面白かった、一番楽しかった思い出です。



※赤線内が当クラブ活動範囲

この四半期の活動模様

1. 毎月第二土曜の定例活動・・・「緑の募金」公募事業:モミジ谷の林内整備中心の活動

□4月 9日 天気:晴れ 参加19名 ハイク道両側に散在する伐採済みの木の整理、集積

□5月14日 天気:曇り 参加15名 ハイク道両側の草刈り、周辺に残るナラ枯れの除去

□6月11日 天気:曇り 参加15名 最終の仕上げとして、全体的な草刈り、危険な枯損木除去

この活動で、ハイキング道はもちろん、谷側への斜面、谷の流れなど全般的にスッキリした森になったと思います。これで3年にわたる「もみじ谷の林内整備」を完了。お疲れさまでした。今後維持に努めたいと思います。

そのほか、午後にはR308工務店横の草刈りや、子ども交流館垣根の散髪、椎茸銀行の整備などもおこないました。



2. 毎月第四土曜の定例活動

□4月23日 天気:晴れ 参加15名 頂上展望台草刈り、みんなの森草刈り、みんなの森の丸木橋を間伐材で補強

□5月28日 天気:晴れ 参加19名 国道308号沿線の草刈り、枯損木除去。午後からは平成の森の草刈り。

この日はNEW主催の事前観察もあり、午前中は半数ずつに分かれて実施。

□6月25日 天気:曇り 参加16名 みんなの森上部の育苗地の草刈り、管理道の草刈り、および下部倒木の除去。

今年は雑草の成長も早く、頂上展望台、R308沿線、平成の森、みんなの森の草刈りに追われました。特にみんなの森は笹の浸食も激しい状況です。間伐した桧の活用で丸木橋などの補強を行いました。

椎茸銀行も春の駒打ちが終わり、6月に本伏せ、順調に進んでいます。



3. 自主活動・・・林野庁助成事業:矢田山三角点から頂上展望台沿線整備

■4月3日(日) 行政申請中の為中止(技術講習会を実施)

■5月1日(日) 雨のため中止

□6月5日(日) 天気:曇り 参加9名

□4月20日(水) 天気:晴れ 参加5名

□5月18日(水) 天気:晴れ 参加6名

■6月15日(水) 雨のため中止

林野庁助成事業「矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備」を4月20日からⅢ期目として開始。まず管理道横の幹が裂けている桧の危険木を伐採、裂けた部分の下は黒くなってました(落雷か?)。午後は以降のための準備。

5月から旧三角点周辺の灌木を除去。うるさかった藪を整理して生駒山を少し展望できるようになりました。

6月5日は、桧の間伐を利用してチェーンソーの実践的演習です。講師清原さんと、参加者個々に木の重心確認、伐倒方向決め、周囲の安全確認、受け口・追い口作り、伐倒時の動作～玉切りまで作業を行いながら修得しました。



チェーンソーよもやま話

清原 正彦

これからシリーズで、チェーンソーに関する様々なお話をさせていただきます。但し、お話しする内容には、私見も含まれていることをご了承ください。

第1話

《初めてのチェーンソーの選び方》

初めてチェーンソーを購入したい方に、選び方のアドバイスです。ポイントは二つかと思えます。

- ①使用目的と頻度
- ②支出できる金額の上限を目安に

- 年に1、2回程度しか使わないのであれば、ホームセンターで購入できる2、3万円台の「マキタ」「リョービ」「ハスクバーナ」「ECHO」「BIGM」などから選べばいいでしょう。
- 薪材を作りたいけど、そんなに大きな木は伐らないのなら、(ホビーソー、カジュアルソーなどと称される)3～5万円台26cc～35ccクラスで「新ダイワ・共立」「ハスクバーナ」「STHIL」「マキタ」などから選んでは・・・。
- 伐根直径40cm位の太めの樹を伐ることもあるのなら「新ダイワ・共立」「ハスクバーナ」「STHIL」で35cc～40cc台の6～9万円台の機種を検討することになるかな。
- チェーンソーの形状から選択すれば、主に竹を伐るのであればトップハンドル型を、薪材を作る目的であればリアハンドル型 を、お勧めします。
- 駆動形式からの選択だったら、住宅地の近くで使うことが多いようでしたらバッテリー式(値段は高め)、音が静かなので苦情が出ることはないでしょう。騒音をそれほど気にしなくてもいいのなら2サイクルエンジン式といったところでしょうか。



年に1、2回程度しか使わないのであれば、ホームセンターでの購入で構わないと思いますが、それよりも上級機種をお考えでしたら、メンテナンスや相談窓口としてもお近くの農機具屋さんやチェーンソーの専門店で購入されることをお勧めします。

また、どんなに高価格のチェーンソーを選んでも、普段の整備や目立てを怠れば宝の持ち腐れになりかねません。(特に目立て)

「森づくり・奈良クラブ」に入会されたら、懇切丁寧に使い方・お手入れ法などお教えしますよ。(まずはメールでご連絡下さい gvnc@nifty.com ←※この部分はHP掲載向け)

何度も言いますが、これらはあくまでも目安として紹介しています。

※今号から4話にわたり、清原さんにチェーンソーの知識に関するお話しを掲載していただきます。日頃耳にできないノウハウも多いので、大変参考になります。4回終了後、ホームページに掲載予定。



予告：「緑の募金」活動の一環として森林環境に関するイベントを8月に開催

7月定例活動から「緑の募金」公募事業として、「冒険の森の整備」が開始されますが、それに合わせて、8月に森林環境イベントを開催します。実施内容は下記のとおりですが、一般参加募集について、会員の皆様からのご近所、知り合いなどお声かけください。また、当日の参加もよろしくお願ひします。

- ①期日 : 2022年8月13日(土) 10:00～12:30
- ②場所 : 奈良県立矢田自然公園 冒険の森 (集合は子ども交流館)
- ③募集 : 20名、5家族程度(※個人参加も可)
- ④内容 : ■受付の後、徒歩5分程度の「冒険の森」で自然観察。(※森林インストラクターがご案内)
■後半は、子ども交流館付近で「たたき染め」体験
- ⑤装備 : 少し野山を歩くので、軍手や軽い運動できる服装。暑い時期なので水分持参のこと。
- ⑥申込 : メールで gvnc@nifty.com まで
- ⑦その他 : 参加費は無料。

■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ
奥 恵一郎

〈後記〉

今号は、会員の皆様の記事をお寄せいただき、ものすごく！助かりました。これまでの画一的なものとは違いクラブの歴史や技術面の記事等個人的にも面白く参考になるものでした。

次回以降も会員の皆様の投稿をお願いします。
(衛藤)